

教職員わいせつ行為防止へ

2/1 日から
年度
教委

自己分析チェックシート導入

年度
教委

県教委は31日、来年度の
度から教職員らによる
わいせつ行為などの防
止に向けた自己分析チ
ェックシートを導入す
ると発表した。小児性
愛(男性用)とセクハラ、パワハラ(男性用、
女性用)の3種類で、

結果に基づき、専門機
関への相談を促すのが
狙い。

チェックシートは、
性犯罪加害者や性的指
向に障害を抱える人た

ちの治療などに当たる
機関の代表理事で、精
神科医の福井裕輝さん
が作成した。長野県教
委が小児性愛用を20
17年度に導入してお
り、都道府県では2例
目という。

設問は大きく分け
て、認知のゆがみ▽上
司からのハラスメント
や仕事上のストレス
などの引き金▽具体的
状況下の行動―に関
し、それぞれ20項目前

後。回答の合計点数が
一定以上になると専門
機関への相談を勧めら
れる。

4月以降、県内公立
学校の全教職員と県教
委事務局全職員の計約
1万4000人に配
布。正直に回答しても
らうため、分析結果の
報告は求めず、専門機
関に相談するかも自己
判断とする。

長野県での相談件数や
自身は非公表とした上
で相談につながったケ
ースはあると報告。「自
覚しながらも相談先が

分からない人は多い。
専門機関につながり、
治療を受けて予防がで
きればいい」と話した。

【加藤小夜】



チェックシートについて説明する
福井さん(右)ら